



2. リスクコミュニケーションに関する取組

食品安全委員会は、リスク管理機関と連携しながら、リスク評価の内容など食品の安全性に関する意見交換会等を全国各地で実施し、消費者を含む関係者との間で情報の共有や意見交換を行っています。

しかしながら、リスクコミュニケーションの目的や実施の方法については様々な考え方があり、まだ多くの課題があります。このような中で、リスクコミュニケーション専門調査会における検討を踏まえ、食品安全委員会において「食の安全性に関するリスクコミュニケーションの改善に向けて」（平成18年11月）が決定され、改善策が提示されました。

現在この報告書に検討すべき事項として掲げられている①リスクコミュニケーションの検証、②審議の経過に関する透明性の確保と情報提供のあり方、③地方自治体との協力、④諸外国との連携、⑤食育の各課題について同専門調査会で検討し、リスクコミュニケーションの着実な推進と新たな展開を図っているところです。

・「食の安全性に関するリスクコミュニケーションの改善に向けて」（平成18年11月）

http://www.fsc.go.jp/senmon/risk/riskcom_kaizen.pdf

○ 地域におけるリスクコミュニケーションの担い手の育成

平成18年度から、地域におけるリスクコミュニケーションを積極的に推進するため、地方公共団体と協力して、新たに食品の安全性に関する講演やリスクコミュニケーションに関する基礎的な講習などを行う「食品の安全性に関する地域の指導者育成講座」を全国で開催しています。

また、平成19年度からは、地域の指導者育成講座の受講者を主な対象として、意見交換を円滑に行う役割を担うリスクコミュニケーターを育成する講座を全国で開催しています。これらの講座を受講された方々の協力を得つつ、地域における食品安全のリスクコミュニケーション活動が推進されるよう、食品安全委員会は、受講者に対し継続的に情報を提供するなどの支援を行っています。

○ 食の安全ダイヤル

国民の皆様から食品の安全性に関するお問い合わせ、ご意見、ご報告などを頂く「食の安全ダイヤル」を設置するとともに、よくある質問については、Q&Aとして整理し、ホームページに掲載しています。

平成19年にはBSE、トランス脂肪酸など937件（平成19年1月～12月）の問い合わせがありました。

「食の安全ダイヤル」
TEL 03-5251-9220・9221
月曜～金曜（ただし祝日・年末年始を除く）
10:00～17:00

○ 食品安全モニター

国民の皆様は日常生活を通じて、食品の安全性についてのご意見などを頂くため、全国各地の470名の方に「食品安全モニター」を依頼しています。食の安全性に対する意識等を把握するためのアンケート調査の実施、情報提供や意見等の報告のほか、食品安全委員会からの情報の地域への提供にもご協力いただいています。募集は毎年1～2月ごろに行っています。